

行政視察報告書

令和7年 11 月 18 日

長浜市議会議長 伊藤 喜久雄 様

長浜市議会議員

大橋延行

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

1. 視察等名 令和7年度健康福祉常任委員会行政視察研修
2. 視察期間 令和7年10月23日(木)
3. 視察場所及び目的

①大阪府泉大津市

健康増進施策あしゅびプロジェクト、マタニティ応援プロジェクト
10月22日の研修は欠席

②大阪府豊中市

療育(0歳～就学前)
給食の残食のリサイクル

4. 調査内容感想等

・視察の目的

豊中市における障害のある子どもへの支援の基本的な考え方・基本構想及
び豊中市立児童発達支援センターの事業概要について

緑と食品のリサイクルプラザにおける学校給食のリサイクル活用の在り方
について

・ 視察内容

豊中市の基本姿勢について

子ども一人一人の発達には特性がありますが、特性を生かしつつ支援を必要としている人がその住み慣れた地域で、必要な時に、必要な支援が受けられるよう環境を整えていくことが重要になります。

障害のある子どもへの支援については、障害のある子供に対する理解促進とともに、保険・医療・福祉・教育等の関係機関や地域との連携や個々の子どもの成長に応じた乳幼児期から青年期まで一貫した支援、その子の将来を見据えながら、長期的視点に立つことが重要になってきます。

支援にあたっての基本的な考えは「それぞれの子どもの生きる力・育つ力を支援すること」であり、それは子供の「生活する力」を育てることになります。

具体的な取り組み

① 子どもの発達特性や障害の早期の気づき・支援

＊早い段階での「気づき」及び支援

＊気づきから支援に係る身近な相談の場づくり

＊専門的な見立てからの「気づき」の促し

② ライフステージに応じた切れ目のない支援（縦の連携）

＊相談支援体制の充実、移行期における支援、個別の支援計画の活用

＊就学前から就学後の支援のつなぎ

＊青年期及びそれ以降も含めた障害を通じた支援へのつなぎ

③ 保健、医療、福祉、保育、教育、就労支援等とも連携した地域支援体制の確立（横の連携）

＊保健、医療、福祉、保育、教育、就労支援等が連携した支援

＊関係者の役割分担

④ 相談支援・コーディネート機能の充実

＊障害のある子どもの地域社会への参加・包容のための後方支援（専門的役割

の発揮)

⑤子供のそれぞれの発達特性に応じた支援の充実

＊発達特性や障害特性に応じた専門性の高い療育・訓練

＊医療支援が必要な障害のある子どものための医療と福祉の連携

＊こども園での「ともに生き共に育つこと」の実践

⑥家族・保護者への支援

＊家族保護者支援の充実

⑦身近な地域における支援

＊地域子育て支援の充実

⑧人材育成

＊支援する職員の人材育成（スキルアップ研修・支援者交流）

⑨広報・啓発・学習の機会の提供

⑩障害のある子どもの支援に関する現状把握

＊ニーズの把握

＊支援の状況把握

⑪公民の役割分担に係る取り組み

＊障害や支援に係る情報共有

＊障害児通所給付費の支給決定基準の策定

＊障害児相談支援（計画相談）の導入

＊民間障害児通所支援事業所の機能・役割分担の明確化

＊児童発達支援センターの機能・役割の充実に向けた検討

豊中市生ごみ・選定枝堆肥化施設「緑と食品のリサイクルプラザ」を現地視察し、給食の残食と街路樹の選定枝を醗酵・熟成させ土壌改良資材として製造を行っている過程を研修

・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

令和 7 年 3 月議会答弁に於いて当局が子ども若者施策については、未来創造部がグリップを握り予算編成を行い、組織の横軸縦軸をしっかりハンドリングし様々な施策に取り組みたいと答弁しておられるので、議会としても豊中市の具体的な取り組みを参考にして未来創造部に提案していきたい。

給食残食の有効活用、及び食育や食品ロスについて、長浜市でも取り組んでいきたい。